

【人気図書の紹介】 ※図書館で人気のある本の紹介です。

1位 「麒麟の翼」 東野 圭吾／著 出版社：講談社



寒い夜、日本橋の欄干にもたれかかる男に声をかけた巡査が見たのは、胸に刺さったナイフだった…。

大都会の真ん中で発生した事件の真相に、加賀恭一郎が挑む。

2位 「謎解きはディナーのあとで」 東川 篤哉／著 出版社：小学館



「失礼ながら、お嬢様の目は節穴でございますか？」

令嬢刑事と毒舌執事が難事件に挑戦!

「殺人現場では靴をお脱ぎください」「殺しのワインはいかがでしょう」など、ユーモアたっぷりの本格ミステリ6話を収録。

3位 「花の鎖」 湊 かなえ／著 出版社：文藝春秋



元英語講師の梨花、結婚後、子供ができずに悩む美雪、絵画講師の紗月。

そして、3人の女性の人生に影を落とす謎の男「K」。感動のミステリ。

『別冊文藝春秋』連載をまとめて単行本化。

4位 「県庁おもてなし課」 有川 浩／著 出版社：角川書店



とある県庁に突如生まれた新部署“おもてなし課”。観光立県を目指すべく、若手職員の掛水は、地元出身の人気作家に観光特使就任を打診するのだが…。

巻末には高知県庁に実在する「おもてなし課」職員と著者の鼎談を収録。

5位 「ばんば憑き」 宮部 みゆき／著 出版社：角川書店



湯治旅の帰途、雨で足止めとなった若夫婦が老女との相部屋を引き受けた。

老女が語りだす50年前の忌まわしい出来事とは。

表題作をはじめ江戸の怪奇小説全6編を収録。『怪』ほか掲載を書籍化。

2011年6月15日 現在

【読みたい本が貸出中の時は「予約」ができます。詳しくは図書館職員へお尋ねください。】